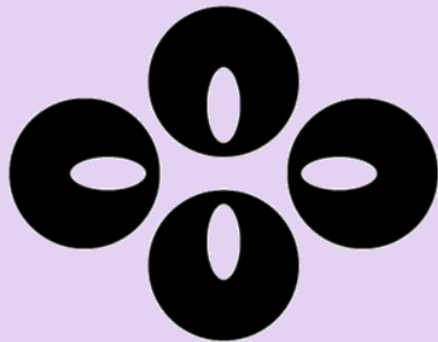




甲州市農業委員会だより

1. 「2025年農林業センサス」の

経営体調査を実施

農林業の実態や変化を総合的に把握するため、統計法に基づき5年に1度実施されるのが農林業センサスです。農業委員や市の職員も調査員として当該調査に協力しました。

直面する課題、課題から浮かび上がる方策、その基となるのがデータです。正確なデータを把握、蓄積していくことはとても重要であり、収集したデータは今後の農業施策に活用していきます。協力いただきました市内農業者の皆様ありがとうございました。

[>>農林業センサスについてはこちらをクリック（農林水産省）<<](#)

2. 「地域計画」の策定・公表について

地域計画は、農地利用の将来図を定めるもので、市町村は令和7年3月末までに策定することとされています。本市においては、令和7年1月末に目標地図に位置付ける農業者一覧の整理を終え、目標地図との整合を取りながら、10地区の計画を固め、令和7年3月31日付けて策定・市のHPにおいて公表しています。

[>>地域計画についてはこちらをクリック<<](#)

3. 甲州市農業委員会第8期の

体制がスタートし、1年が経過

昨年2月1日に市長から任命を受けた農業委員19名、市農業委員会会長から委嘱を受けた農地利用最適化推進委員19名の総勢38名で構成する甲州市農業委員会、第8期の体制がスタートし早1年が経過しました。委員の皆様、中間年にあたる2年目も引き続きよろしくお願いいたします。

[>>農業委員・農地利用最適化推進委員についてはこちらをクリック<<](#)

甲州市農業委員会事務局

第4号

発行日：令和7年4月15日

所在地：甲州市塩山上於曽1085-1
(本庁舎2階10番窓口)

TEL：0553-32-5092

1. 「2025年農林業センサス」の
経営体調査を実施

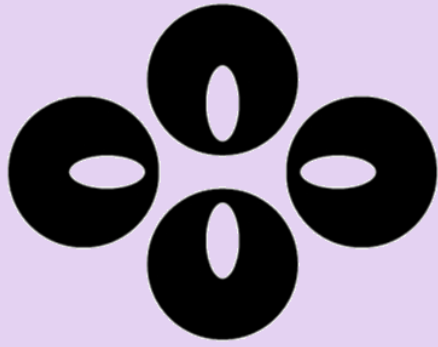
2. 「地域計画」の
策定・公表について

3. 甲州市農業委員会第8期の体制が
スタートし、1年が経過

4. 農地の適正管理について

5. 農業委員会の動き
(令和7年4月～6月)

6. その他



4. 農地の適正管理について

季節も春へと移行し、畑へ出る機会も増えてきました。季節が進むと同時に問題となるのが耕作されていない畑から派生する雑草等の繁茂です。昨年度、市には100件を超える遊休農地に際する苦情・相談が寄せられています。雑草等が繁茂する農地があると病虫害の温床となり、近隣住民や周辺農地に大変な迷惑を及ぼしてしまうことが考えられます。

特に農地を所有しているが現状耕作していないという方は留意していただくとともに、農地の適正管理に努めていただきますようお願いいたします。



5. 農業委員会の動き（令和7年4月～6月）

- ・ 定例総会（4月25日・5月30日・6月27日）
- ・ 各委員の最適化活動（随時）

6. その他（農政に関すること）

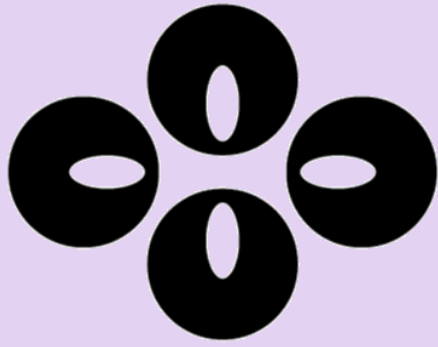
● 女性農業士のつどい

令和7年1月14日に県内の女性農業者で構成する県女性指導農業士会主催によるつどいが甲州市勝沼ぶどうの丘を会場に開催されました。農業経営のコンサルティングなどを行うファームサイド（栃木県）の佐川友彦さんを講師としてお招きし、「令和の時代を生き抜く経営改善とコンパクト農業経営」と題して先行事例を紹介いただきました。

農業の分野においても女性の活躍が目を見届けるようになっています。



1. 「2025年農林業センサス」の
経営体調査を実施
2. 「地域計画」の
策定・公表について
3. 甲州市農業委員会第8期の体制が
スタートし、1年が経過
4. 農地の適正管理について
5. 農業委員会の動き
(令和7年4月～6月)
6. その他



●ブドウの剪定&誘引講習会

令和7年1月29日に甲州市指導農業士会主催の講習会が有限会社ぶどうばたけの圃場にて開催されました。この講習会は女性農業士や新規就農者を対象にした初歩的な内容のものと位置づけており、農業の裾野を広げるために毎年開催しております。

当日は約30名の農業者が参加され、三森斉さんの指導のもとで剪定や誘引の必要性や重要性への理解を深める機会となりました。



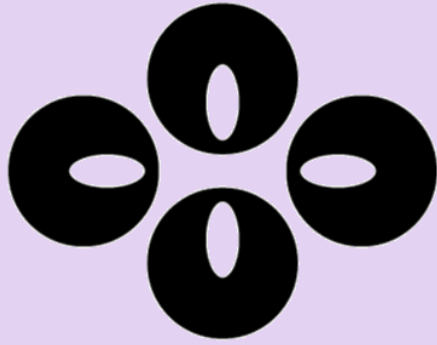
●甲州式ブドウ棚 棚掛け講習会

令和7年2月25日に峡東地域世界農業遺産推進協議会主催の講習会が塩山千野の圃場で開催されました。講師には長年棚掛けを実践している吉田哲也さんをお招きし、参加された約30名の農業者に対して、道具や材料を用いた講習がおこなわれました。

峡東地域で考案された甲州式ブドウ棚と疎植・大木仕立てを組み合わせた栽培方法は、生育期に多雨多湿である当地域でも安定したブドウ栽培をすることを可能にした伝統的な技術です。今後も産地を維持発展していくうえで棚掛け技術の継承は不可欠であるため、このような活動を続けてまいります。



1. 「2025年農林業センサス」の
経営体調査を実施
2. 「地域計画」の
策定・公表について
3. 甲州市農業委員会第8期の体制が
スタートし、1年が経過
4. 農地の適正管理について
5. 農業委員会の動き
(令和7年4月～6月)
6. その他



●令和6年度新規就農者情報

年間を通して多くの新規就農希望者の方から相談を受けました。農地情報、支援施策、研修プログラム等をその方の状況にあわせてお話をさせていただきました。

令和6年度は、市独自の研修制度であり2年間の研修を経て独立就農を目指す「甲州市就農定着総合支援制度」の活用者が4名、三親等以内の親族から農業経営の継承を目的とする「親元就農促進支援事業」の活用者が8名となりました。両制度の活用を検討する相談者も含めると、ここ数年を遡っても最多となりました。

また、就農特化型の地域おこし協力隊である「アグリトレーニー制度」は今年度2名委嘱済みであり、計7名の隊員がブドウやモモを中心とした農業研修を日々おこなっております。

令和7年度も引き続き、相談者に寄り添ったサポートを心掛けてまいります。

11. 「2025年農林業センサス」の
経営体調査を実施

2. 「地域計画」の
策定・公表について

3. 甲州市農業委員会第8期の体制が
スタートし、1年が経過

4. 農地の適正管理について

5. 農業委員会の動き
(令和7年4月～6月)

6. その他

